

自己点検・評価報告書

動物実験に関する自己点検・評価報告書

龍谷大学

2024年8月1日

## I. 規程及び体制等の整備状況

## 1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「動物実験規程」、「2023 年度動物実験委員会議案書及び議事録」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、動物実験規程が定められている。さらに、2021 年度に実施した公益社団法人日本実験動物学会外部検証委員会による外部検証の結果を受けて、2022 年度の規定改正で学長の責務の明確化や、実験動物の飼養及び保管に関する内容の拡充がなされ、2023 年度 4 月 1 日から施行されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

## 2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「動物実験規程」、「2023 年度動物実験委員会議事録」、「2023 年度動物実験委員一覧」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>飼養保管基準及び基本指針に適合した動物実験委員会が置かれている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

## 3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「動物実験規程」、「動物実験計画書様式」、「動物実験報告書様式」、 「飼養保管施設設置承認申請書様式」、「実験室設置承認申請書様式」、「施設等廃止届様式」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験の実施に必要な動物実験規程等及び各種申請書様式等が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

## 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「動物実験規程」、「2023 年度動物実験委員会資料・議事録」、 「遺伝子組換え実験安全管理規程」、「遺伝子組換え実験安全管理に関する細則」、 「研究段階におけるゲノム編集技術の利用により得られた生物の使用等に関する要項」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験の実施に関連する様式や手続きを整備している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

## 5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物実験規程」、「飼養保管施設設置承認申請書様式」、「実験室設置承認申請書様式」、「施設等廃止届様式」「龍谷大学瀬田学舎 9 号館動物飼養保管施設運用マニュアル」、「龍谷大学動物実験施設における緊急時の対応マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が規程等に定められており、確認に必要な各種様式等も適正に定められている。また、飼養保管施設には標準作業手順書として龍谷大学瀬田学舎 9 号館動物飼養保管施設運用マニュアルが定められており、龍谷大学動物実験施設における緊急時の対応マニュアルも整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

## 6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

1) 教育訓練の体制 教育訓練を行うための体制が整っている。（「動物実験規程第 9 章」「動物実験にかかる教育訓練に関する資料」参照）
2) 自己点検・評価、情報公開の体制 自己点検・評価および情報公開を行うための体制が整っている。（「動物実験規程第 10 章、第 11 章」参照）

## II. 実施状況

## 1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「2023 年度動物実験委員会資料・議事録」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験規程に基づいて、学長の諮問機関として委員会を開催し、関連事項に関して審議した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

## 2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「2023 年度動物実験委員会資料・議事録」、「動物実験計画書」、「動物実験報告書」、「動物実験自己点検票」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験計画書を審査し、学長の承認を得ると共に、動物実験報告書と動物実験自己点検票により動物実験の実施状況を把握した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

## 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「2023 年度動物実験委員会資料・議事録」、「動物実験計画書」、「動物実験報告書」、「動物実験自己点検票」、「実験動物飼養保管状況の自己点検票」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>安全管理を要する遺伝子組換え実験や感染実験等を行われていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

## 4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 飼養保管する実験動物はいない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「2023 年度動物実験委員会資料・議事録」、「動物実験規程」、「2023 年度 飼養保管した実験動物の種類及び数について（報告）」、「龍谷大学瀬田学舎 9 号館動物飼養保管施設運用マニュアル」、「実験動物飼養保管状況の自己点検票」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>実験動物は適正に飼養保管され、微生物モニタリングが実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

## 5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 飼養保管する実験動物はいない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「2023 年度動物実験委員会資料・議事録」「動物実験規程」、「龍谷大学瀬田学舎 9 号館動物飼養保管施設運用マニュアル」、「2023 年度実験動物飼養保管状況自己点検票」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>施設の設置時に動物実験規程が求める設置基準を満たしていることを委員会が確認しており、委員長による視察と実験動物飼養保管状況の自己点検票の提出によって、適正に維持管理されていることを把握している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

## 6. 教育訓練の実施状況

（実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「2023 年度動物実験委員会資料・議事録」、「動物実験規程」、「実験動物飼養保管状況自己点検票」、「動物実験にかかる教育訓練に関する資料」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>規程やマニュアルが更新されたことを受け、教育訓練内容にも新しい規程・マニュアルの内容が反映された。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

## 7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「動物実験規程」、「2022 年度動物実験自己点検・評価報告書」</p> <p><a href="https://www.kenkyubu.ryukoku.ac.jp/attempt/ethics-animal/">https://www.kenkyubu.ryukoku.ac.jp/attempt/ethics-animal/</a></p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>大学の情報公開ホームページに自己点検・評価報告書や動物実験委員会構成員情報をはじめとして、本学における動物実験に関する情報を公開している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし</p>

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

<p>2023 年度には、動物の解剖学的構造に対する学生の理解を深めるために、先端理工学部／理工学部の生物学実験と農学部の解剖生理学実験においてマウスやラットが用いられた。農学部教員による栄養生理学的研究においてもマウスやラットを用いた実験が実施された。いずれの実験においても実験終了後、動物の遺体は丁寧に扱われ、その後の処理は専門の業者に委託された。2023 年 4 月 10 日に瀬田キャンパス樹心館において開催された「いのちを考える集い」には、農学部の学生や教員が参加し、いのちの尊さと実験動物への感謝の気持ちを忘れないことを学んだ。動物実験においては、できるだけ少数の実験動物で実施することに努めており、いのちを尊重する姿勢を示し続けている。これからも、いのちが無為に失われることのないよう、実験動物の飼育環境や実験方法の改善に取り組みつづけ、いのちに対する尊敬のこころをもって、真摯な態度で科学研究を進めていくことが望まれる。今後も、事故のないよう安全面に配慮しつつ、適切な動物実験の実施に向けて努めていきたい。</p>
---